

介護老人保健施設しおさい

アウディ トリ アリヤニ(栄養科 / 調理補助)

功 績 インドネシア料理を企画食として計画、実施することで通所リハの稼働とご利用者満足度向上に貢献した功績。

推薦者氏名 算用子美登里

推薦理由 今回、アウディさんは他部署の協力を得ながら、インドネシア料理の企画立案から準備、調理に至るまで主体的に取り組み、通所の利用者増加に貢献しました。また、本企画食の実施を通じて調理技術および衛生管理の習得に手応えを得ており、現在では通常献立の改善や食材費のコストダウンにも着実に繋げています。これらの功績に加え、今後の更なる成長と挑戦への意欲を高く評価し、その活躍を期待して、今回 理事長賞候補として推薦いたします。

内 容

アウディ・トリ・アリヤニさんは、令和7年5月に特定技能外国人としてしおさいに入職しました。現在は主に盛付けや配膳準備を中心に業務に従事していますが、どの仕事にも真摯に向き合い、ひたむきに努力を重ねています。

料理が大好きなアウディさんは、これまでも自宅で作った料理をスタッフに振る舞ってきました。そんな中、「ご利用者にも母国インドネシアの料理を楽しんでほしい」という強い思いから、今回の企画がスタートしました。インドネシア料理は辛味が強く、そのままでは提供が難しい中、ご利用者一人ひとりを思い浮かべながら味の調整を行い、調味料の取り寄せや代替食材の工夫を重ね、何度も試作に取り組みました。初めての大量調理に不安を抱えながらも、衛生管理や調理方法を学び、慣れない計算にも挑戦し、努力を積み重ねてきました。更に、通所スタッフと協力して看板やポスターを作成し、自らの企画を多くの方に届けようとする姿は、周囲にも大きな影響を与えました。

当日は、インドネシアの代表料理「ナシゴレン」を中心に6品を100名分調理。民族衣装に身を包み、映像や音楽とともに会場を彩り、まるでインドネシアにいるかのような温かい空間を創り上げました。事務部門やリハビリスタッフなど、多くの職員が一丸となって支えたことで、この企画は大きな成功を収めました。

アウディさんは、ご利用者一人ひとりに笑顔で声をかけ、写真を撮りながら心を込めておもてなしを行いました。「ジャワ語を教えてもらった」「衣装がとてもきれいだった」「説明が分かりやすかった」など、多くの喜びの声が寄せられ、会場は笑顔に包まれました。この取り組みにより、通所リハビリでは利用者が7名増加し、2月として初めて30名を超える成果にもつながりました。

一人の「届けたい」という思いから始まった今回の企画は、多くの人の協力を生み、チームとなり心をつなぐ時間となりました。そして何より、アウディさんの挑戦は、私たちに大切な「相手を思う気持ち」と、それを形にする力を改めて教えてくれました。